

企業概要

- 社名：株式会社I&C（大阪府） <https://www.iandc-inc.jp/>
- 従業員数：16人 ■ 資本金：10百万円 ■ 売上高：10億円
- 事業内容：インテリア・ロボティクス家具の設計製造 ■ 知的財産：特許4件、意匠2件、商標3件



LAP（昇降式洗面台）

相談のきっかけ

事業の進捗に合わせ、知財への取組みを強化する

当社は、インテリアと介護や医療とのクロスオーバー領域において、車椅子に合わせて容易に高さ調整が可能な昇降機能を備えた洗面台、キッチン、テーブルなど、デザイン性と機能性を備えた製品の設計・製造を行っている。また、最近ではこれらの製品を使った、ホテル施設、リハビリテーション施設も開発し、事業範囲の拡大を目論んでいる。さらに、今後の課題としてIoT技術やAI技術等との融合も進むと思われる、社内における知財マネジメントの重要性がますます高まってくると考えられる。今回支援を受けることにより、社内の知財体制を整えると共に、知財戦略の策定や、海外展開に伴う知財リスクへの備え等、知財マネジメントの基本的な考え方を身につけたいと考えた。

課題と支援の内容

注）海外知財PD(プロデューサー)は、INPITの専門人材です。

課題	支援のポイントと活用した専門家
知財体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 全社の知財に関する意識を高めるため、知的財産に関連する基礎的なものの考え方が身につくように指導する。 製品開発における知財上のクリアランスの実施等に関する指導を行う。 社内の知財体制構築に関する指導を行う。 <p>弁理士</p>
知財戦略	<ul style="list-style-type: none"> 製品戦略に沿い、技術、ノウハウの抽出・整理し、出願と秘匿についての分けについて支援する。 リハビリテーション施設を事例に取り上げ、発明発掘及び権利化の仕方について指導する。 <p>弁理士</p>
海外展開	<ul style="list-style-type: none"> 海外への事業展開に伴い、海外の知財リスクに対する意識向上を図る。 <p>弁理士 海外知財PD注)</p>

支援を通じてできたこと

項目	支援成果
知財体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 社長と全社員が、知財制度、知財権の効果、特許公報の見方、調査方法等、知的財産の基本的についての認識が深まり、全社の知財レベルが向上した。 開発部長を兼任で知財部長に充て、組織的に知財部門を新設することができた。 製品化ステージで、外部弁理士と連携して知財上のクリアランスを実施する仕組みを作ることができた。
知財戦略	<ul style="list-style-type: none"> 製品開発ロードマップに基づいて、関係者により出願案件の掘り起こしを行った結果、昇降式洗面台について追加の特許出願を行うことができた。
海外展開	<ul style="list-style-type: none"> 知財のリスクを考慮した上で、中国における製造検討及びアジア圏での販売を開始することができ、海外展開を進めることができた。

社長の支援成果についてのコメント

少人数の会社であり、知財部門もないため、知財活動は後回しになりがちでしたが、この度は知財について立ち止まって考える機会になりました。アイデアがいっぱいですがその扱いに不慣れがあります。機能化、知能化を進めるほど、関係企業は確実に増えます。知財をどう活用し、武器にしていくか、社員全員で取り組んでいきたいと思えます。

リーダー：古谷栄男（弁理士）

支援担当者：大野健造（大阪府知財総合支援窓口）